

# 特定本邦航空運送事業者(※)に関する航空輸送サービスに係る情報公開(平成21年7~9月)のポイント

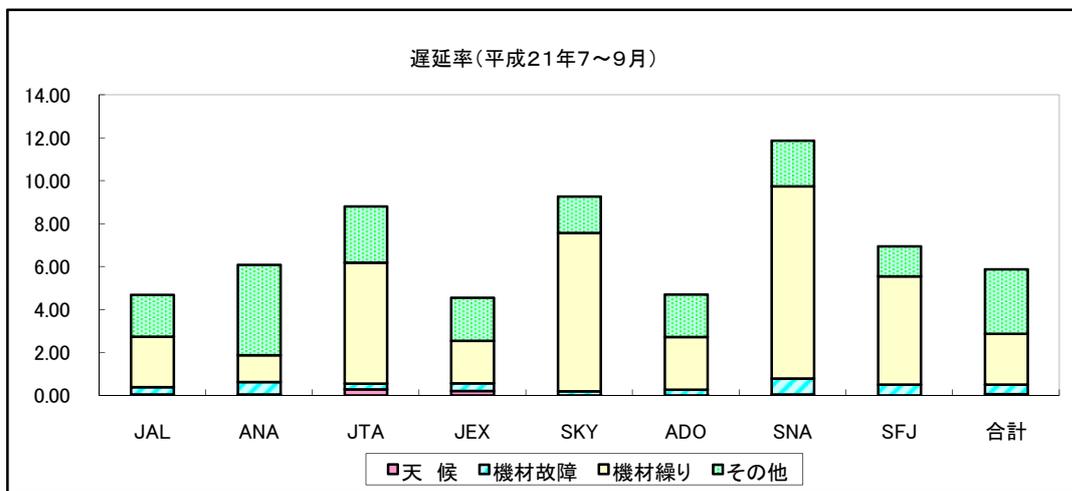
※日本航空: JAL(日本航空インターナショナル及びジェイエアを含む)、全日本空輸: ANA(エア・ニッポン、エア・ネクスト、エア・ニッポンネットワーク及びエア・セントラルを含む)、日本トランスオーシャン航空: JTA、ジャルエクスプレス: JEX、スカイマーク: SKY、北海道国際航空: ADO、スカイネットアジア航空: SNA及びスターフライヤー: SFJ

## 1. 輸送サービスの比較等に関する情報

### (1) 遅延率(平成21年7月~9月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
5.88%	6.72%	0.84ポイント減少

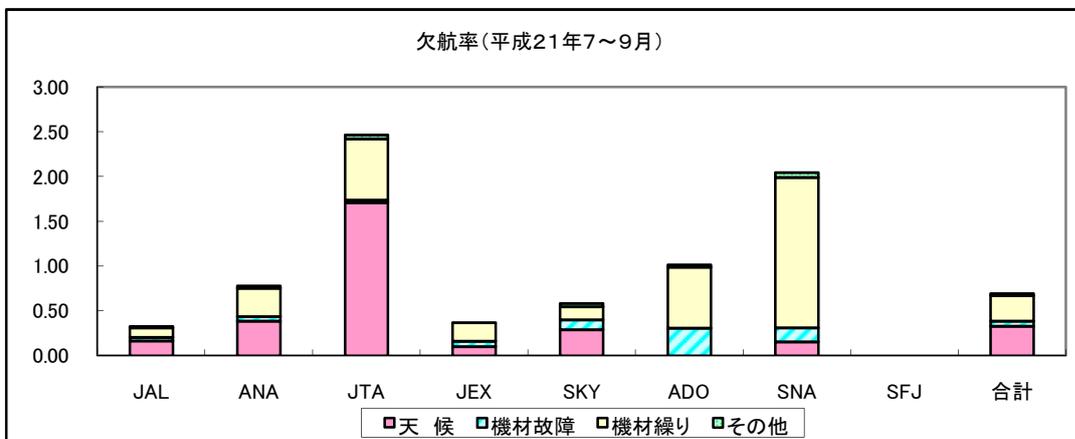
備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

### (2) 欠航率(平成21年7月~9月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
0.69%	0.64%	0.05ポイント増加



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

## 2. 運賃関連情報

### (1) 輸送実績(平成21年7～9月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	921km	916km	0.5%増
輸送人員	2287万7596人	2443万8230人	6.4%減
輸送人キロ	210億7452万人キロ	223億8422万人キロ	5.9%減
旅客収入	3789億80百万円	4192億81百万円	9.6%減
輸送人員あたり 旅客収入	16.6千円	17.2千円	3.0%減
輸送人キロあたり 旅客収入	18.0円	18.7円	3.7%減

### (2) 路線別データ(平成21年7～9月)

#### ① 旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位 東京＝札幌	263万6501人
2位 東京＝福岡	193万1152人
3位 東京＝那覇	146万8034人
4位 東京＝大阪	134万3777人
5位 東京＝鹿児島	61万8950人
全路線	2281万9778人

#### ② 利用率

上位5路線は次のとおり。

下位5路線は次のとおり。

1位 関西＝函館	95.0%	1位 大島＝八丈島	14.9%
2位 東京＝石垣	86.9%	2位 宮古＝石垣	29.8%
3位 関西＝旭川	86.5%	3位 東京＝大島	34.4%
4位 中部＝旭川	84.3%	4位 関西＝高知	35.5%
5位 東京＝奄美大島	83.9%	5位 関西＝松山	36.6%
全路線	65.0%	全路線	65.0%

### 3. フレックストラベラー制度(※)に関する情報

平成21年7～9月フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に対する不足座席数の割合(1万人あたり)が高かった上位3社は次のとおり。

(※)オーバーセールス(搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること)の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に対する不足座席数の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	全日本空輸	2.05人	1.33人
②	スターフライヤー	1.78人	0.62人
③	スカイネットアジア航空	1.70人	1.80人
	全社平均	1.39人	0.94人